

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成20年10月30日

上場会社名 株式会社 アドバンテス  
 コード番号 6857 URL <http://www.advantest.co.jp/investors/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 丸山 利雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 中村 弘志  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月11日 配当支払開始予定日 平成20年12月1日

上場取引所 東

TEL 03-3214-7500

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	52,520	—	△3,915	—	△4,885	—	△2,943	—
20年3月期第2四半期	114,863	△4.7	24,647	△23.5	27,360	△19.4	16,930	△23.8

	1株当たり四半期純利益		希薄化後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	△16.47		△16.47	
20年3月期第2四半期	91.52		91.24	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円
21年3月期第2四半期	282,113	247,880	247,880	254,184	87.9	1,386.94
20年3月期	298,684	254,184	254,184		85.1	1,422.20

(参考)自己資本 21年3月期第2四半期 247,880百万円 20年3月期 254,184百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
21年3月期	—	25.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社の事業は、半導体用テストシステムが主力であり、半導体メーカー、テストハウスおよびファウンドリーの設備投資に大きく依存しております。これらの設備投資は、主に半導体に対する現在および将来の需給の動向などによって決定されます。近年においては、デジタル家電、モバイル機器ならびに自動車向けなど、半導体の用途の広がりで、半導体の需給動向を見通すことがより困難になってまいりました。それにより、これまで周期的な動きをしていた半導体関連の設備投資は、投資計画の変更が日常的に行われるようになっております。このような事業環境の中で、数値による業績の予想は非常に困難であるため、現時点におきましては、通期の業績予想については開示しておりません。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	199,566,770株	20年3月期	199,566,770株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	20,842,165株	20年3月期	20,840,721株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	178,725,524株	20年3月期第2四半期	184,980,284株

## ※ その他特記事項

(1)本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されております。

(2)当連結会計年度より当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条の規定に基づき、米国において一般に認められた会計基準による用語、様式および作成方法に準拠して作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期（平成 20 年 7 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の状況（単位：億円）

	平成 20 年 3 月期 第 2 四半期	平成 21 年 3 月期 第 2 四半期	前年同四半期比
受注高	420	181	△56.8%
売上高	578	260	△54.9%
営業利益	129	△21	—
税引前四半期純利益	123	△46	—
四半期純利益	70	△27	—

当第 2 四半期の経営環境は、前四半期よりもさらに悪化傾向を示す中で推移しました。半導体関連市場においては、昨年第 4 四半期から本年第 1 四半期にかけて、半導体メーカーによる北京五輪特需を期待した生産増加や半導体価格の底打ち感が見え始めたものの、第 2 四半期では、パソコンやデジタル家電の需要が思ったほど伸びず、半導体価格も供給過剰などにより低迷が続くなど厳しい状況で推移しました。これらの状況に加え、米国に端を発した金融危機の拡大による世界的な景気後退の中で、企業収益はさらに鈍化傾向を深め、設備投資抑制の傾向は一段と強まりました。

このような厳しい状況に対処するため、当社は、関連会社を含めたグループ全体での経費削減、設備投資抑制などの対策を講じるとともに、部品・設計の標準化や後補充生産方式のさらなる推進による原価低減、棚卸資産の適正化を図ってまいりました。

以上により、受注高は 181 億円（前年同四半期比 56.8%減）、売上高は 260 億円（同 54.9%減）、営業損失は 21 億円、税引前四半期純損失は 46 億円、四半期純損失は 27 億円となりました。また、海外売上比率は 71.3%（前年同四半期 67.4%）となりました。

事業のセグメント別概況は次のとおりであります。

## &lt;半導体・部品テストシステム事業部門&gt;

（単位：億円）

	平成 20 年 3 月期 第 2 四半期	平成 21 年 3 月期 第 2 四半期	前年同四半期比
受注高	293	115	△61.1%
売上高	443	186	△57.8%
営業利益	128	7	△94.5%

当事業部門では、半導体メーカーによる大幅な設備投資の抑制や凍結などの影響により、メモリおよび非メモリ半導体用テストシステムのいずれにおいても低調に推移しました。メモリ半導体用テストシステムでは、NAND型フラッシュ・メモリの価格やDRAM価格が大幅に下落したことにより、メモリ半導体メーカーの設備投資は依然として抑制された状態が続きました。また、非メモリ半導体用テストシステムでは、モバイルPC関連が堅調に推移したことにより、関連する半導体の増産の動きが見られましたが、設備投資の回復にはいたらず、さらに、LCDドライバICメーカーが依然として設備投資の凍結を継続していることに加え、景気の先行き不安から、デジタル家電向けおよび車載向け半導体などの分野においても、各半導体メーカーの設備投資が抑制され、全体的に厳しい状況で推移しました。

以上により、当部門の受注高は 115 億円（前年同四半期比 61.1%減）、売上高は 186 億円（同 57.8%減）、営業利益は 7 億円（同 94.5%減）となりました。

## &lt;メカトロニクス関連事業部門&gt;

(単位：億円)

	平成 20 年 3 月期 第 2 四半期	平成 21 年 3 月期 第 2 四半期	前年同四半期比
受注高	79	28	△64.3%
売上高	92	59	△36.5%
営業利益	3	△3	—

当事業部門では、メモリおよび非メモリ半導体用テストシステムとともに、半導体メーカーによる設備投資抑制の傾向が強まったことにより、それらに接続されるテスト・ハンドラならびにデバイス・インタフェース製品への需要も低調に推移しました。

以上により、当部門の受注高は 28 億円（前年同四半期比 64.3%減）、売上高は 59 億円（同 36.5%減）、営業損失は 3 億円となりました。

## &lt;サービス他部門&gt;

(単位：億円)

	平成 20 年 3 月期 第 2 四半期	平成 21 年 3 月期 第 2 四半期	前年同四半期比
受注高	52	42	△19.9%
売上高	58	38	△33.2%
営業利益	9	6	△42.1%

当部門では、半導体用テストシステムやテスト・ハンドラに対する保守・サービスへの需要が低調に推移したことにより、受注高は 42 億円（前年同四半期比 19.9%減）、売上高は 38 億円（同 33.2%減）、営業利益は 6 億円（同 42.1%減）となりました。

なお、平成 21 年 3 月期第 1 四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成 21 年 3 月期第 1 四半期決算短信（平成 20 年 7 月 25 日開示）をご参照ください。また、前年同四半期の金額および前年同四半期増減率は、参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期末の総資産は、売上債権や棚卸資産の減少などにより、前四半期末比 96 億円減少し、2,821 億円となりました。負債合計は未払金や買掛金の減少などにより、前四半期末比 50 億円減少し、342 億円となりました。また、純資産は 2,479 億円となり、自己資本比率は前四半期末比 1.3 ポイント増加し、87.9%となりました。

## (キャッシュ・フロー計算書)

当第 2 四半期末における現金および現金同等物は、前四半期末より 38 億円増加し、1,507 億円となりました。当第 2 四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、124 億円の収入となりました。これは主に、売上債権の減少（66 億円）や棚卸資産の減少（45 億円）などによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、56 億円の支出となりました。これは主に、短期投資による支出（△30 億円）および有形固定資産の購入（△22 億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3 億円の支出となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の半導体関連市場につきましては、次世代の高速ネットワークやモバイル機器などに対応するマイクロ・プロセッサや高速DRAMの量産開始に向けた投資が回復し、当社の主力製品である半導体用テストシステムへの需要の高まりを期待しております。

しかしながら、現状では、半導体の供給過剰による価格低迷が続いていることに加え、金融機関の破綻や世界的な株価下落などの金融危機に端を発した世界同時不況への不安感が日増しに高まっていることから、半導体メーカーによる設備投資はさらに慎重な姿勢が続くものと予想されます。

このような厳しい状況の中で、当社は、顧客の真のニーズを捉えた新製品の供給とサービスの提供によるマーケットシェアの維持、拡大を図るとともに、一層のコスト削減による財務体質強化により、業績の回復に最大限努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、表紙（サマリー情報）に記載のとおり開示しておりませんが、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

当連結会計年度より当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第 93 条の規定に基づき、米国において一般に認められた会計基準による用語、様式および作成方法に準拠して作成しております。

平成 18 年 9 月に、米国財務会計基準審議会は、基準書第 157 号「公正価値の測定」を発行しました。基準書第 157 号は、公正価値を定義し、公正価値を測定するための枠組みを確立するとともに、公正価値の測定に関する開示を拡大しております。

基準書第 157 号は、新しい事象について公正価値の使用を拡大するものではありませんが、年度および四半期の財務報告において追加的な開示を要求するものであります。当社は、平成 20 年 4 月 1 日に開始する第 1 四半期から金融資産および負債に基準書第 157 号およびその改定基準書を適用しました。基準書第 157 号の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。非金融資産および負債については、平成 20 年 11 月 15 日より後に開始する連結会計年度より適用されます。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金および現金同等物	150,729	147,348
売上債権(貸倒引当金控除後)	16,142	30,124
棚卸資産	22,607	26,823
繰延税金資産	15,621	12,678
その他の流動資産	5,879	6,474
流動資産合計	210,978	223,447
投資有価証券	8,271	9,754
有形固定資産(純額)	47,973	50,765
繰延税金資産	6,582	6,488
無形資産(純額)	3,530	3,476
その他の資産	4,779	4,754
資産合計	282,113	298,684

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
負債の部		
買掛金	7,377	11,765
未払法人税等	0	585
未払金	806	2,458
未払費用	9,026	10,940
製品保証引当金	2,723	3,143
その他の流動負債	2,321	2,804
流動負債合計	22,253	31,695
未払退職および年金費用	10,404	10,711
その他の固定負債	1,576	2,094
負債合計	34,233	44,500
資本の部		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	40,158	40,072
利益剰余金	271,277	278,689
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 6,590	△ 7,615
自己株式	△ 89,328	△ 89,325
資本合計	247,880	254,184
負債および資本合計	282,113	298,684

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	52,520
売上原価	25,637
売上総利益	26,883
研究開発費	13,572
販売費および一般管理費	17,226
営業利益(△損失)	△ 3,915
その他収益(△その他費用)	
受取利息および受取配当金	1,253
支払利息	△ 6
その他	△ 2,217
その他収益(△その他費用)合計	△ 970
税引前四半期純利益(△損失)	△ 4,885
法人税等	△ 2,013
持分法投資利益(△損失)	△ 71
四半期純利益(△損失)	△ 2,943

(単位：円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益(△損失)	
基本的	△ 16.47
希薄化後	△ 16.47

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	26,062
売上原価	12,927
売上総利益	13,135
研究開発費	6,840
販売費および一般管理費	8,384
営業利益(△損失)	△ 2,089
その他収益(△その他費用)	
受取利息および受取配当金	566
支払利息	△ 3
その他	△ 3,060
その他収益(△その他費用)合計	△ 2,497
税引前四半期純利益(△損失)	△ 4,586
法人税等	△ 1,835
持分法投資利益(△損失)	△ 40
四半期純利益(△損失)	△ 2,791

(単位：円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益(△損失)	
基本的	△ 15.62
希薄化後	△ 15.62



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間	
(自平成20年4月1日	
至平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
四半期純利益(△損失)	△ 2,943
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整	
減価償却費	4,655
繰延法人税等	△ 3,180
ストック・オプションによる報酬費用	86
売上債権の増減(△増加)	14,359
棚卸資産の増減(△増加)	4,996
買掛金の増減(△減少)	△ 4,524
未払法人税等の増減(△減少)	△ 389
未払費用の増減(△減少)	△ 2,063
製品保証引当金の増減(△減少)	△ 704
未払退職および年金費用の増減(△減少)	△ 255
その他	4,852
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	14,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	
短期投資の増減(△増加)	△ 3,000
市場性のない投資有価証券の売却による収入	34
有形固定資産の売却による収入	390
無形資産の購入額	△ 390
有形固定資産の購入額	△ 3,744
その他	△ 432
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 7,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△ 4,459
その他	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 4,463
現金および現金同等物に係る換算差額	96
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	3,381
現金および現金同等物の期首残高	147,348
現金および現金同等物の四半期末残高	150,729

当連結会計年度より当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条の規定に基づき、米国において一般に認められた会計基準による用語、様式および作成方法に準拠して作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1. 事業別セグメント営業損益

単位：百万円

	当第2四半期連結会計期間				合計
	(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	18,411	3,774	3,877	-	26,062
セグメント間の内部売上高	266	2,068	-	△ 2,334	-
売上高	18,677	5,842	3,877	△ 2,334	26,062
調整前営業利益 (△損失)	707	△ 279	551	△ 2,982	△ 2,003
(調整) ストック・オプション費用					86
営業利益 (△損失)					△ 2,089

単位：百万円

	当第2四半期連結累計期間				合計
	(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)				
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	35,294	8,986	8,240	-	52,520
セグメント間の内部売上高	350	2,077	-	△ 2,427	-
売上高	35,644	11,063	8,240	△ 2,427	52,520
調整前営業利益 (△損失)	1,388	△ 1,705	988	△ 4,500	△ 3,829
(調整) ストック・オプション費用					86
営業利益 (△損失)					△ 3,915

- (注) 1. 全社に含まれる営業利益 (損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

## 2. 地域別売上高

単位：百万円	
当第2四半期連結会計期間	
(自 平成20年7月1日	
至 平成20年9月30日)	
日本	7,472
米州	5,208
欧州	474
アジア	12,908
合計	26,062

単位：百万円	
当第2四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年9月30日)	
日本	13,961
米州	8,043
欧州	894
アジア	29,622
合計	52,520

- (注) 1. 外部顧客に対する売上高は顧客の所在地に基づいております。  
 2. 各区分に属する主な国または地域  
 (1) 米州……………米国等  
 (2) 欧州……………イスラエル、ドイツ、アイルランド、ポルトガル等  
 (3) アジア……………台湾、韓国、中国等

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。

## 【参考】

前年同四半期にかかる財務諸表等

## (1) 中間連結損益計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
区 分	金額 (百万円)		百分比 (%)
売上高		114,863	100.0
売上原価		52,839	46.0
売上総利益		62,024	54.0
研究開発費		16,361	14.2
販売費および一般管理費		21,016	18.3
営業利益		24,647	21.5
その他収益 (△その他費用)			
受取利息および受取配当金	2,170		
支払利息	△ 6		
その他	549	2,713	2.3
税引前中間純利益		27,360	23.8
法人税等		10,426	9.1
持分法投資利益 (△損失)		△ 4	△ 0.0
中間純利益		16,930	14.7

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
区 分	金額 (円)	
1株当たり中間純利益		
基本的		91.52
希薄化後		91.24

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月30日)
区 分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
中間純利益	16,930
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整	
減価償却費	3,884
繰延法人税等	△ 3,610
ストック・オプションによる報酬費用	289
売上債権の増減(△増加)	△ 4,321
棚卸資産の増減(△増加)	△ 2,249
買掛金の増減(△減少)	△ 6,258
未払法人税等の増減(△減少)	731
未払費用の増減(△減少)	△ 1,003
製品保証引当金の増減(△減少)	△ 103
未払退職および年金費用の増減(△減少)	△ 575
その他	2,292
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	6,007
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
市場性のない有価証券の売却による収入	41
市場性のない有価証券の購入額	△ 117
有形固定資産の売却による収入	213
無形資産の購入額	△ 517
有形固定資産の購入額	△ 5,792
その他	△ 182
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 6,354
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期債務の返済による支出	△ 5
自己株式の売却による収入	249
自己株式の取得による支出	△ 19,121
配当金の支払額	△ 6,087
その他	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 24,968
IV 現金および現金同等物に係る換算差額	△ 649
V 現金および現金同等物の純増減額(△減少)	△ 25,964
VI 現金および現金同等物の期首残高	196,395
VII 現金および現金同等物の中間期末残高	170,431

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## 1. 事業別セグメント情報

		前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	
		金額(百万円)	百分比 (%)
半 導 体 ・ 部 品	外部顧客に対する売上高	83,561	98.0
	セグメント間の内部売上高	1,703	2.0
	売上高	85,264	100.0
	営業費用	62,123	72.9
	調整前営業利益	23,141	27.1
メ カ ト ロ ニ ク ス	外部顧客に対する売上高	21,144	99.0
	セグメント間の内部売上高	223	1.0
	売上高	21,367	100.0
	営業費用	17,933	83.9
	調整前営業利益	3,434	16.1
サ ー ビ ス 他	外部顧客に対する売上高	10,158	100.0
	セグメント間の内部売上高	-	-
	売上高	10,158	100.0
	営業費用	8,548	84.2
	調整前営業利益	1,610	15.8
全 社 ・ 消 去	外部顧客に対する売上高	-	-
	セグメント間の内部売上高	△ 1,926	100.0
	売上高	△ 1,926	100.0
	営業費用	1,323	-
	調整前営業利益	△ 3,249	-
連 結	外部顧客に対する売上高	114,863	100.0
	セグメント間の内部売上高	-	-
	売上高	114,863	100.0
	営業費用	89,927	78.3
	調整前営業利益	24,936	21.7
	(調整) ストック・オプション費用	289	0.2
	営業利益	24,647	21.5

- (注) 1. 全社に含まれる営業費用は、主として全社一般管理費および事業別セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

## 2. 地域別売上高

		前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)
外部顧客に対する売上高			
米 州		4,974	4.3
欧 州		4,946	4.3
ア ジ ア		66,244	57.7
海 外 計		76,164	66.3
日 本		38,699	33.7
連 結		114,863	100.0

## 平成21年3月期 第2四半期決算(連結)の概要

### 1. 受注・受注残

上段は平成20年7月25日に発表した業績予想値であります。(単位:億円)

	平成19年度(2007年度)実績				平成20年度(2008年度)実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比
受注高	532	420	312	358	182	181	△0.1%	(360) 363	△61.8%
受注残	490	332	295	324	241	162	△32.9%	(184) 162	△51.4%

### 2. 損益

上段は平成20年7月25日に発表した業績予想値であります。(単位:億円)

	平成19年度(2007年度)実績				平成20年度(2008年度)実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比
売上高	571	578	350	329	265	260	△1.5%	(500) 525	△54.3%
営業利益 (売上高比率)	117 (20.5%)	129 (22.4%)	10 (2.7%)	△29 (△8.7%)	△18 (△6.9%)	△21 (△8.0%)	—	(△55) △39 (△7.5%)	—
税引前四半期純利益 (売上高比率)	151 (26.4%)	123 (21.3%)	20 (5.8%)	△59 (△17.8%)	△3 (△1.1%)	△46 (△17.6%)	—	(△40) △49 (△9.3%)	—
四半期純利益 (売上高比率)	99 (17.4%)	70 (12.1%)	30 (8.6%)	△33 (△10.3%)	△2 (△0.6%)	△27 (△10.7%)	—	(△25) △29 (△5.6%)	—

### 3. 財政状態

(単位:億円)

	平成19年度(2007年度)実績				平成20年度(2008年度)実績		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前期比
総資産	3,543	3,510	3,141	2,987	2,918	2,821	△5.5%
純資産	2,815	2,864	2,655	2,542	2,525	2,479	△2.5%
自己資本比率	79.4%	81.6%	84.5%	85.1%	86.6%	87.9%	—

(単位:円)

1株当たり純資産	1,529.09	1,555.42	1,486.32	1,422.20	1,412.90	1,386.94	△2.5%
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-------

### 4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	平成19年度(2007年度)			平成20年度(2008年度)		
	2Q末	期末	年間	2Q末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	25.00	25.00	50.00	25.00	25.00	50.00